

- ▶ 本県のスギ素材生産量は年間180万m<sup>3</sup>を超え、平成3年から29年連続日本一であるが、伐採や造林などの事業量の拡大による労働力不足や、林業就業者の高齢化が進んでおり、森林整備等を推進していく上で担い手確保が大きな課題となっている。
- ▶ このため、令和元年度は、実践的な人材育成を総合的に行う「みやざき林業大学校」を開講し、林業の実践的な知識や技術を有し、即戦力となる新規就業者、森林経営管理制度を担う市町村職員、森林施業を集約化し森林経営計画を作成する森林施業プランナー等、本県林業・木材産業をリードする人材の育成に取り組んだ。

## □ 事業内容

### 1 「みやざき林業大学校」担い手育成総合研修事業

- 本県の林業ニーズに対応した実践的な人材育成を行うため、知識や技術、技能の習得に加え、森林経営管理制度を担う人材や意欲と能力のある林業経営者の養成及び森林経営管理制度を推進する市町村職員への研修を実施

【事業費】67,385千円（うち譲与税28,596千円）

#### 【実績】

- ①みやざき林業大学校「長期課程」：21名  
実践的な知識や技術・技能を身に付け、即戦力となる人材の育成
- ②みやざき林業大学校「短期課程」：75名  
市町村職員研修、森林施業プランナー養成研修



（長期課程：第1期生）



（短期課程：森林施業プランナー養成研修）

## □ 事業スキーム

- 1 短期課程「森林施業プランナー養成研修」



- 2 1以外については、県直営にて実施

## □ 工夫・留意した点

- 長期課程では、林業の基礎からICT等最新技術を学び、林業就業に必要な（全国の林業大学校で最多の）16の資格が取得可能。
- 民間企業や林業事業体、行政が一体となった就学・就業・定着を見据えた支援など、オールみやざきの支援体制を構築した（令和2年3月末現在で86団体）。

## □ 基礎データ

①令和元年度譲与額	115,343千円
②私有林人工林面積（※1）	176,867ha
③人口（※2）	1,104,069人
④林業就業者数（※3）	3,151人

※1：「森林資源現況調査（林野庁、H29.3.31現在）」より、  
※2，3：「H27年国勢調査」より